

令和2年度

臨床実習の手引き

〔選択実習〕

島根大学医学部

目 次

選択実習	
臨床実習学生名簿	2
令和2年度 選択実習日程表	3
内分泌代謝内科	33
腫瘍・血液内科	35
消化器・肝臓内科	37
脳神経内科	39
膠原病内科	41
循環器内科	43
腎臓内科	44
呼吸器・臨床腫瘍学(呼吸器・化学療法内科)	46
皮膚科	48
小児科	49
消化器・総合外科	51
循環器・呼吸器外科<心臓血管外科>	52
循環器・呼吸器外科<呼吸器外科メイン>	54
整形外科	56
リハビリテーション科	57
脳神経外科	58
泌尿器科	59
精神科神経科	60
産科婦人科	63
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	65
眼科	67
放射線科	68
放射線治療科	70
麻酔科	71
緩和ケア	73
歯科口腔外科	74
臨床検査医学	75
病理部	76
救急医学	78
Acute Care Surgery	79

内分泌代謝内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 9：00（月曜日が祝日の場合，火曜日8：30に集合）
- (2) 集合場所 B病棟4階カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

(1) 外来実習

単独または，上級実習生として5年生とともに外来初診患者の予診を担当し，医行為（医療面接や診察を行いプロブレムリストの作成と仮診断）を行う。続いて確定診断に必要な検査計画を立案し，外来担当医の診察に陪席する。診療後，外来担当医よりフィードバックを受け，外来診療に必要な知識，技能を習得する。

(2) 病棟実習

常時，複数人の患者を主治医に準じて担当し，日々の診療を行い患者の病態を把握しカルテ記載，検査計画の立案などを行う。上級医の指導を受け，治療行為に必要な知識，技能を習得する。5年生が担当する入院患者全員（3～4患者）を上級実習生として指導的立場で担当し，5年生に助言・指導を行う。

朝のミーティングでは担当患者について日々の経過を上級医にプレゼンテーションし，病棟回診前カンファレンスでは，1週間の経過，検査・治療計画の報告，質疑応答などを行い，医療従事者に必要な情報伝達能力を習得する。他職種チームカンファレンスに参加・発言し，他職種連携に医師として求められるスキルを習得する。

時間内の内分泌救急疾患／緊急入院患者を上級医と共に担当し，診察・検査計画立案を行い，病態把握に必要な臨床推論能力を習得する。

症例検討会において，司会や症例提示，考察の発表を行う。また，担当患者の中から症例を選び，学会発表に準じたスライド作成とプレゼンテーションを行い，卒後に必要なプレゼンテーション能力を習得する。

(3) シミュレーターを用いた実習

シミュレーターを用いて，医学教育モデルコアカリキュラムに示されている診断の基本項目について，臨床推論技能を習得する。

3 GIO（一般目標）

内分泌代謝疾患の医療従事に必要な医療技能を習得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 医療面接，診察，検査を行うことができる。
- (2) 診察所見，検査結果を解釈し，問題点を列挙することができる。
- (3) 診断・治療に必要な検査計画を立案することができる。
- (4) (1)～(3)の内容をカルテに記載，プレゼンテーションすることができる。
- (5) 指導医，看護師等の医療従事者に対し，医療の遂行に必要な情報伝達ができる。
- (6) 文献等の医療情報の収集ができる。
- (7) 上級者の役割が理解できる。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8：30	12：30	13：30	17：00
月	当番担当教員	〈オリエンテーション〉 〈外来病歴の取り方〉 朝ミーティング（2週目～）			糖尿病カンファレンス 病棟実習
火	教授 他	入退院カンファ・回診 病棟患者血糖測定・インスリン手技確認			症例検討会 [抄読会]
水	当番担当教員	外来予診，病棟実習			甲状腺エコー，病棟実習
木	当番担当教員	朝ミーティング 病棟患者血糖測定・インスリン手技確認			病棟実習 (臨床推論1)
金	当番担当教員	(臨床推論2)，病棟実習			糖尿病回診 まとめ(最終週)

() は4週間に1回，〈 〉 は1週目，[] は偶数週

担当教員：金崎，山内，山本，守田，田中小，野津，小池，他

担当教員や実習内容の詳細については，担当グループ毎に初日に説明する。

6 評価法

出席，診療記録，プレゼンテーション，症例検討会，実習態度などを総合して判断する。

7 その他注意事項

(1) 医療従事者 (student doctor) である自覚を持つこと。

腫瘍・血液内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00
- (2) 集合場所 A病棟2階カンファレンスルームさくら
月曜日が休みの時は、火曜日の8:30にC病棟8階スタッフステーションに集合

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。ただし、5年時に比べより専門的な事柄の理解ができることを目標にする。

指導医の指示に従って、組み込まれたチームの一員として、指示された入院患者の準主治医として臨床実習を行う。主治医・指導医の協力の下に、毎日受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて受け持ち患者さんの病態や治療方針について理解する。

骨髓標本や末梢血塗抹標本を集中的にみる。

月～金曜日の朝カンファレンスにおいて、主治医とともに準主治医として所属グループの患者さんについて検査や治療方針について、議論に参加し、確認する。その後のグループの回診に同行し、毎日患者を診察、POS方式により診療録に記載をする。また夕方その日にしたこと、また疑問などを主治医・指導医に報告、質問をする。これらのことを通じて、日々の研修で理解した患者さんの病状や病態について、プレゼンテーションする能力を身につける。

採血、骨髓穿刺、生検、腰椎穿刺、中心静脈ルート穿刺などの検査・手技が行われる場合には、患者への説明同意にも可能な限り参加し、実技を見学し、適応や危険性などについても理解する。また、大学の方針に基づき実技を行う。

外来実習では、主に新来患者さんの問診や診察を通して、鑑別診断や検査計画を立案する能力を身につける。

チームの一員として薬剤師、看護師とコミュニケーションをとり、その能力についても身につけるように努力する。

3 GIO（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を習得する

1. 血液疾患・腫瘍患者の診察およびその留意点
2. 血液疾患の診断と治療の考え方とその実際
3. 腫瘍患者の診断と治療の考え方および標準治療

4 SBO（到達目標）

- (1) 問診、身体所見、検査所見などから総合的な診断を行うことができる。
- (2) 病歴聴取を含めた基本的診察法を身につける。
- (3) 検査法の概要を理解し、適応や所見の解釈ができる。
- (4) 末梢・骨髓血液標本から得られる異常所見を理解する。
- (5) 腫瘍患者の基本的な画像所見を理解する。
- (6) 標準的治療法を理解し、適応について判断することができる。

5 スケジュール

8：30～9：30 朝カンファレンス，その後のグループ回診
(月曜のみ8時にA病棟2階カンファレンスルームさくらに集合)

<1週目>

月：午前 抄読会，オリエンテーション
午後 回診・入院患者カンファレンス，(月初めは移植カンファレンス)
火：午前/午後 病棟実習
水：午前/午後 病棟実習，骨髄標本勉強会
木：午前/午後 病棟実習
金：午前/午後 病棟実習

<2-4週目>

月：午前 抄読会，病棟実習
午後 回診・入院患者カンファレンス
火：午前/午後 病棟実習
水：午前/午後 病棟実習
木：午前/午後 病棟実習
金：午前 病棟実習 最終週午後 総括・評価
(担当教員や実習内容については，担当グループ毎に初日に説明する)

基本的には5年生と同様ですが，希望により腫瘍に関する画像や骨髄標本などの検鏡の時間を入れることは可能です。また国家試験の対策の相談にもものごとができます。一度は血液内科の国家試験対策のレクチャーを実施します。

水曜日 18時00分からキャンサーボードがあるときは，参加してください。

外来実習を希望すれば申し出てください。可能な限り対応します。また他にも希望があれば，前もって相談してください。可能な限り希望に沿うようにしたいと思います。

6 評価法

診療記録，プレゼンテーション，口頭試問，出席状況，実習態度などを総合的に評価する。

7 その他の注意事項

服装，マナーに注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

個人情報が記載されているものは持ち歩かないで下さい。

病棟のコピー機は業務用ですので，使用しないでください。

病棟にある書籍は無断で借用しないでください。借用した場合は必ず返却してください。

長時間病棟のコンピューターを使用しないように配慮してください。

臨床実習の目的は，座学では得られない診察技術とそれを通じた考え方を身につけることです。担当患者以外でも興味がある患者さんの診察は，積極的に申し出てください。国試対策とは異なり，皆さんの将来の医師としての能力を磨く場です。症例を通じて，知識・技能を点から線，線から面に広げていってください。

消化器内科，肝臓内科

1 集合時間・集合場所

(1) 集合時間 8：30

(2) 集合場所

朝カンファレンス：B病棟7階カンファレンスルーム

月曜回診時カンファレンス：B病棟7階カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行い，数名の患者さんの診療に参加することを通じて内科系疾患の診断と治療を理解する。

3 G I O（一般目標）

内科系疾患の診療に必要な知識と技術を習得する。特に消化器疾患の診療に必要な基礎的知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

(1) 毎朝モーニングラウンドを行い，主治医にレポートできる。

(2) メディカルインタビュー，基本的診察法を身につける。

(3) 同時に数種類の疾患の診断，治療計画をたてることができる。

(4) 自分で診療録を記載することができる。

(5) 内科系疾患全般の鑑別診断を行うことができる。

(6) 消化器疾患に用いる代表的な薬剤の作用，副作用を述べることができる。

(7) 内視鏡検査，レントゲン，CT等画像検査を読影することができる。

(8) 超音波検査を行うことができる。

(9) 主な内科系疾患の病因，病態，症状，診断，治療，予後，再発予防について解説ができる。

5 スケジュール

- ・朝カンファレンス，病棟回診，グループカンファレンスに参加する。
- ・下記記載のない時間帯は病棟実習を行う。

		8：30	13：30	17：30	
第1週	月	朝カンファ	病棟実習	病棟回診	医局カンファレンス
	火	朝カンファ	病棟実習		
	水	朝カンファ	病棟実習		グループカンファ
	木	朝カンファ	病棟実習		
	金	朝カンファ	教授講義		
	土				
	日				
第2週	月	朝カンファ	病棟実習	病棟回診	医局カンファレンス
	火	朝カンファ	病棟実習		
	水	朝カンファ	病棟実習		グループカンファ
	木	朝カンファ	病棟実習		
	金	朝カンファ	病棟実習		
	土				
	日				

6 評価法

朝カンファレンス，講義，回診，医局カンファレンス，グループカンファレンスへの出欠を確認します。

診療グループの一員として診療に参加し，診療グループの教員から評価を受けます。

7 その他の注意事項

- (1) 患者さんの情報の守秘義務を，医師としてのマナーを守って下さい。
- (2) 毎日出席をとります。単位修得のためには，特別な理由のない欠席は許されません。
- (3) 研修医と同様に扱います。医師と同様の自覚を持って実習に参加して下さい。

脳神経内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 月曜～木曜 8:00 金曜 8:30
 (2) 集合場所 B 病棟 5 階カンファレンス

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。学生は入院患者（1～2名程度）を担当し、医療チームのメンバーの1人として行動する。クラークシップは、文字どおりクラーク（秘書）として医療スタッフと協力することで、病院業務から患者管理まで幅広く医療の実際を経験できることを目標とする。採血、腰椎穿刺、心電図、脳波、筋電図、CT、MRI、リハビリテーションなどを実際に施行または見学する。担当教員及び主治医がマンツーマンで指導し、習熟度については最終週金曜日に口頭試問、最終日提出のレポートで評価し、学生にフィードバックする。

3 GIO（一般目標）

神経疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、臨床所見、検査所見、診断、治療、予後について基本的知識を整理し、診療技術を習得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までを考え、問題解決する能力を身につける。
 (2) 症例に関連した文献検索法を習得し、英語文献の読解力を向上させる。
 (3) メディカルインタビュー、神経学的診察法を身につける。
 (4) 難病患者さんの立場に立った医師の役割を理解する。
 (5) 基本的な手技の実施または見学をする。

5 スケジュール

曜日	担当教員	午 前	午 後
月	長井 三瀧	8:00～8:30 カンファレンス 8:30～オリエンテーション 病棟実習	レクチャー 病棟実習
火	安部	8:00～カンファレンス 9:30～外来ポリクリ、レクチャー	病棟実習
水	白澤 稲垣	8:00～カンファレンス 病棟実習	病棟実習
木	伊藤	8:00～カンファレンス 9:30～病棟実習	
金	田原	8:30～カンファレンス（学生による症例発表含む） 11:00～神経回診、症例検討会	総括 レポート作成、提出

神経放射線カンファレンス（火、18時～）、脳卒中カンファレンス（火、19時～）がそれぞれ月1回程度あるので、出席すること。場所は追って連絡する。

6 評価法

基本的到達目標の達成度評価：口頭試問，レポート，出席状況，実習態度
レポートは，担当した患者さんについての考察を，文献をふまえて作成すること。

7 その他注意事項等

- ・服装，マナーに注意。患者さんへの感謝・心配りとプライバシーの厳守。
- ・患者さんのベッドサイドには教科書など参考図書を持ち込まないこと。
- ・服装は襟付きのシャツに白衣，または，ケーシー型白衣とする。
(医療用であっても「サンダル」は禁止)
- ・ネームプレートの着用。
- ・時間厳守。
- ・患者さんの情報が漏れることの無いように注意する。

膠原病内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8 : 30

- (2) 集合場所 月曜火曜 AB 棟5階カンファレンスルーム
 水～金曜 AB 棟4階カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。担当教員と学生1対1～2名で、担当教員と共に病棟、外来を受け持つ。

入院時の検査、治療計画、治療中のマネージメントなどを主治医と相談しながら行うことで実践的な臨床の力を身につける。また回診カンファレンスでは受持患者さんの紹介を行い、病歴や検査所見などをまとめて、発表する能力を身につける。入院患者のプログラムをみることで、膠原病だけでなく、糖・脂質・骨代謝、感染症、全身臓器の評価を行い総合内科的な見方も養う。毎日カルテに患者の状態、問題点、評価、計画を記入し、病態の把握と問題解決能力を身につける。

担当教員の外来で一緒に患者を診て、問診、診察などを通じて、鑑別診断、検査治療計画をつくる能力を身につける。

3 G I O（一般目標）

膠原病および膠原病類縁疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、臨床所見、検査所見、診断、治療法、予後について基本的知識を整理し、技術を習得する。また、免疫抑制状態にある患者で注意すべきこと、合併症などを通じて内科学全般の学習をする。

4 S B O（到達目標）

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までを考え、問題解決する能力を身につける。
- (2) 救急患者さんに対して基本的なプライマリーケアができる。
- (3) 症例に関連した文献検索法を習得し、英語文献の読解力を向上させる。
- (4) メディカルインタビュー、基本的診察法を身につける。
- (5) 難病患者さんの立場に立った医師の役割を述べる。
- (6) 患者とのコミュニケーションをとる能力を身につける。
- (7) 看護師、薬剤師、検査技師等とのチーム医療の必要性を学ぶ。
- (8) 5年生に分かりやすく教えることで、自身の勉強とする。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30
月	近藤／森山	カンファレンス病棟実習		病棟実習
火	森山／本田	カンファレンス病棟実習		病棟実習
水	村川	カンファレンス回診		抄読会
木	近藤	カンファレンス外来		5年生にレクチャー（実習中1回）
金	村川	カンファレンス 抄読会		外来／病棟実習

8時半に病棟にて担当教員にその日のスケジュールを確認してください。

4週間のうち1回 テーマを決めて、5年生にレクチャーをする。

4週間のうち1回水曜日の抄読会で英文論文を紹介する。

6 評価法

担当症例の発表検討会における発表や質問
実習態度

7 その他注意事項等

服装，マナーに注意
プライバシーの厳守
ネームプレートの着用
聴診器持参

循環器内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 月曜日 臨床研究棟5階内科学第4医局
火曜日～金曜日 ICU

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行い、患者の診療に参加することを通じて循環器病学の診断と治療を理解する。また、講義を通じて知識の整理を行う。

3 G I O（一般目標）

研修医と一緒に実地医療の基本を体験し、臨床の現場で求められているものが何かを体得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 毎朝の研修医モーニングカンファレンスに参加する。
- (2) 基本的診療法を身につける。
- (3) 心電図が判読できるようになる。
- (4) 心臓カテーテル検査のチームに加わり、読影できるようになる。
- (5) 心エコー図検査を行い、基本的な断面が描出できる。

5 スケジュール

曜日	集合時間	場所	午 前	午 後
月	8:30	カンファレンス ルーム	抄読会、カンファレンス、回診	心カテ、心エコー、講義
火	8:30	ICU	研修医カンファレンス、外来	心カテ、心エコー、講義
水	8:30	ICU	研修医カンファレンス、心カテ	講義
木	8:30	ICU	研修医カンファレンス、講義	心カテ、講義、心エコーカンファ
金	8:30	ICU	研修医カンファレンス、心カテ	講義

腎 臓 内 科

- 1 集合時間・集合場所
 月／水曜日 8：30 第二臨床研究棟4階 腎臓内科医局
 火／木／金曜日 8：30 A病棟4階詰所
- 2 実習概要（内容）
 クリニカルクラークシップ
 ミニマムエッセンスレクチャー
- 3 GIO（一般目標）
 (1) 病棟あるいは外来診察で患者さんを診ることにより、実地医療（腎疾患診療）の基本を体験学習する。
 (2) 医療の現場で真に求められているものは何であるのかを考え、体得する。
- 4 SBO（到達目標）
 (1) Problem Oriented System (POS) を理解し、POSにもとづく、診察の進め方と診療録の記載方法を習得する。
 (2) カンファレンスや回診を通して、プレゼンテーションスキルを磨く。
 (3) コアカリキュラムに沿って、臨床に則して腎疾患を理解する。

- 5 スケジュール
 1週目

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) 星野 祐輝	8：30 カンファレンス（医局） 9：30 オリエンテーション 回診，患者紹介 10：00 レクチャー（カンファレンス室）	[13：00 レクチャー（カンファレンス室）] 病棟実習
火曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) 大庭 雅史 (星野 祐輝)	8：30 病棟（各自回診） 11：00 院内コンサルト見学	病棟実習 14：00 レクチャー（カンファレンス室）
水曜日	(伊藤 孝史) (江川 雅博) 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) (星野 祐輝)	8：30 カンファレンス（医局） 9：00 レクチャー（カンファレンス室）	病棟実習
木曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8：30 病棟（各自回診） 9：00 レクチャー（カンファレンス室）	13：00 腎生検（病棟） 14：00 カンファレンス （新患紹介，回診）（病棟） 16：30 抄読会（医局）
金曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8：30 病棟（各自回診） 9：00 レクチャー（カンファレンス室） 11：00 院内コンサルト見学	病棟実習

2 - 4 週目

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) 星野 祐輝	8:30 カンファレンス (医局) 10:00 レクチャー (カンファレンス室)	[13:00 レクチャー (カンファレンス室)] 病棟実習
火曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) 大庭 雅史 (星野 祐輝)	8:30 病棟 (各自回診) 11:00 院内コンサルト見学	病棟実習 14:00 レクチャー (カンファレンス室)
水曜日	(伊藤 孝史) (江川 雅博) 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) (星野 祐輝)	8:30 カンファレンス (医局) 9:00 レクチャー (カンファレンス室)	病棟実習
木曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8:30 病棟 (各自回診) 9:00 レクチャー (カンファレンス室)	13:00 腎生検 (病棟) 14:00 カンファレンス (新患紹介, 回診) (病棟) 16:30 抄読会 (医局) <u>第4週のみ</u> <u>18:00頃 総括 (スライド発表)</u>
金曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8:30 病棟 (各自回診) 9:00 レクチャー (カンファレンス室) 11:00 院内コンサルト見学	病棟実習

- ・レクチャー・総括の時間は、担当医師の都合によって変更になることがありますので、実習初日に予定表を配ります。上記の地域実習の予定によっても変更になります。2週目までは5年生と重なってのレクチャーになると思われます。その際には、一部分を5年生にレクチャーしていただきます。3, 4週は6年生独自のレクチャーになります。
- ・腎生検に関しても、患者さんの入院状況によって、曜日および時間は変更になります。
- ・上記に加えて、(腎臓内科外来医療面接および診察見学), 院内コンサルトの見学, 透析室回診などを行います。

6 評価方法

- (1) 診療録記載内容
- (2) 課題のプレゼンテーション内容
- (3) 実習態度, 総括でのプレゼンテーション内容

呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）

1 集合時間・集合場所

月曜日 8:30 B6病棟カンファレンスルーム
火曜日以降 スケジュールに沿って

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップの Advanced Course として、内科系で最も広い範囲に疾患が存在する呼吸器内科、臨床腫瘍学について、「診療参加型臨床実習」として、学生が実際の診療チームに参加しその一員として診療業務を担当することによって臨床医としての基本的な姿勢を学ぶことである。

指導医によるセミナー形式による知識の整理、疑問点の解決、苦手領域の克服をはかる。

3 G I O（一般目標）

- (1) 呼吸器病学，臨床腫瘍（腫瘍内科）学，感染症，アレルギー診療の臨床を体験学習する。
- (2) 受け持ち患者の医療情報の収集，診断と治療計画ができる。
- (3) 基本的な臨床手技について学び，指導医のアシストを行う。
- (4) モデルコアカリキュラムに沿い，疾患の理解を深める。

4 S B O（到達目標）

- (1) ベッドサイドや外来診察で患者さんを診ることにより，呼吸器診断学，腫瘍診断学習得する。
- (2) カンファレンス，スライド発表を通じてプレゼンテーションスキルを磨く。
- (3) チーム医療における自らの役割を理解し，チームの一員として診療を行うことができる。

5 評価法

- (1) 診療録記載方法，問題リストの作成
- (2) 課題のプレゼンテーション

6 その他

実習中に不明な点があれば必ずその場で解決すること。

週間スケジュールの概要

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 気管支鏡カンファレンス モーニングカンファレンス	気管支鏡検査 病棟・外来実習
火曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 教授外来実習	気管支鏡検査 病棟・外来実習
水曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習 12:30 教授セミナー	気管支鏡検査 病棟・外来実習
木曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 疾患カンファレンス 11:00 回診 12:00 ランチセミナー	病棟・外来実習
金曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習	病棟・外来実習 週総括 最終週に教授総括

皮膚科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 皮膚科医局（第二研究棟4階）

※ 週の初日のカンファレンスで1週間の予定を伝達しますので、必ず出席してください。

2 実習概要（実習内容）

- (1) 外来実習：陪席係と処置係を経験する。陪席係は外来初診患者の医療面接，プレゼンテーション，診察と説明，検査，処方を経験する。処置係は患者の検査，処置，小手術を経験する。
- (2) 病棟実習：入院患者を主治医とともに担当し，診察，検査，治療を経験する。
- (3) 手術実習：手術の補助を行う。
- (4) 特殊外来実習：褥瘡回診，レーザー外来，アトピー外来などを見学する。

3 GIO（一般目標）

5年次までに皮膚疾患患者の診療について基本的事項を習得している。6年次の臨床実習では，これらの知識と経験を基にしてさらに多くの皮膚疾患を経験し，実践的な診療能力を身につける。

4 SBO（到達目標）

- (1) 医療面接にて，必要な情報を的確に収集することができる。
- (2) 病歴と皮膚所見から病態を考察できる。
- (3) 基本的な皮膚疾患の検査と治療方法を立案できる。
- (4) 基本的な皮膚検査（真菌検査，パッチテスト，プリックテストなど）を習得する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00	12:30	13:30	16:30
月	金子他	外来実習			病棟実習，手術など
火	森田・林田他	外来実習			特殊外来，病棟実習など
水	千貫他	外来実習			病棟実習，手術など
木	森田他	カンファレンス			病棟回診，病棟実習など
金	新原他	外来実習			手術，病棟実習など

6 評価法

出席，実習態度，医療面接，身体診察，基本的技能，カルテ記載，プレゼンテーション，問題解決能力，情報収集能力を総合的に評価して判定する。

7 その他注意事項

- (1) 白衣，メモ用紙を持参すること。
- (2) 担当患者の状態に気を配り，礼意を失しないこと。

小 児 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 AM 8:30 (火曜日は AM 8:00)
- (2) 集合場所 C病棟5階 カンファレンスルーム

2 実習概要 (実習内容)

- (1) クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。
- (2) 学内外の小児科診療現場において、患者・家族に対する接し方を学ぶ。
- (3) 小児科の細分化した各専門分野の特殊な治療や検査を見学し、理解する。
- (4) 小児科クリニックを見学し、地域に密着した小児外来診療の状況を理解する。
- (5) 地域の健診や予防接種を見学し、正常発育・発達を把握し、小児保健の状況を理解する。

3 G I O (一般目標)

小児の患者・家族と医師との良好な関係をつくり、患者の状態を把握し適切な医療を行うために必要な知識、態度、技能を修得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 小児科入院中の患者および家族と良好なコミュニケーションが作れるような面談方法を修得する。
- (2) 患者・家族に不快感を与えないよう、身だしなみ、言葉遣いなどに配慮して医療人として相応しい態度を学ぶ。
- (3) 患者・家族の話を共感しながら傾聴する。
- (4) 患者の話の中から必要な情報に焦点をあて抽出する。
- (5) 外来の問診、診察所見から、必要な検査計画、治療計画の立て方を学ぶ。
- (6) 小児科の基本的な診察・検査・治療技術のみならず、高度先進医療を見学し、入院治療が必要な小児患者に対する診療の実際を理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30	9:00	11:00	12:30	13:30	15:00	16:00
月	担当医		MC	オリエンテーション 病棟・外来実習			島根県中病院実習／専門外来／急患対応	
火	担当医		MC	クリニック実習 病棟・外来実習		13:30 NICU・ 病棟回診	予防接種 外来	17:00 退院患者検討 クリニカル カンファレンス
水	担当医		MC	病棟・外来実習		クリニック実習		
木	担当医		MC	病棟・外来実習		乳幼児健診見学／専門外来		
金	担当医			病棟・外来実習		専門外来／サマリー		

MC：モーニング・カンファレンス

6 評価法

- (1) 各担当教員が毎日、行動目標にそって到達度を評価する。
- (2) 実習最終日に、各自が実習の成果を発表し、討論とまとめを行う。

7 その他注意事項等

臨床実習に際しては、自主的・主体的に行動し、受け身とならないこと。

消化器・総合外科

- 1 集合時間・集合場所
 - (1) 集合時間 8:15 (木曜日は7:45 から抄読会)
 - (2) 集合場所 臨床研究棟1階 消化器・総合外科カンファレンスルーム
- 2 実習概要 (実習内容)

外来・入院患者における診療 (予診, 診察, 検査, 手術, 回診) に, 指導医とマンツーマンである。また, 5年生の臨床実習の指導をする。手術手技トレーニング, 抄読会, カンファレンスにも参加する。
- 3 GIO (一般目標)

外科疾患を診断し適切な治療方針をたてるために, 患者の予診, 診察を行い, また検査結果, 治療法, 手術適応, 基本的外科手技を理解する。
- 4 SBO (到達目標)
 - (1) 予診を適確にとることができる。
 - (2) 適確な診察を行うことができる。
 - (3) 外科疾患について, 検査結果を適切に理解する。
 - (4) 外科疾患について, 手術適応を含めた適切な治療法を理解する。
 - (5) 局所解剖や手術法を理解する。
 - (6) 鏡視下手術を含む外科手術の基本的な手技を身につける。
- 5 スケジュール

6年生4週間実習生用スケジュール

曜日	担当教員	8:15	9:00	12:30	13:30	14:00	15:00	17:00
月	田島 平原 板倉	カン ファ レン ス 術 前 症 例 検 討	外来・病棟実習 手術見学		症例検討		病棟実習 手術見学	
火	久守 川畑 林		外来・病棟実習 手術見学			病棟回診・ カンファレンス (症例検討)		
水	山本 松原		外来・病棟実習 手術見学			手術手技トレーニング		
木	西井 高留		外来・病棟実習 手術見学			症例検討		病棟実習 手術見学
金	百藤 留井		外来・病棟実習 手術見学			症例検討		臨床実習のまとめ

- * 毎月1回 (火曜日夕方), 消化器カンファレンス, 肝胆膵カンファレンス, 乳腺カンファレンスに参加する。
- * 毎週木曜日 (朝7:45 ~) に消化器・総合外科と循環器・呼吸器外科の合同抄読会に参加する。

- 6 評価法 出席状況, 実習態度, 観察記録, レポートなどで総合的に評価する。
- 7 その他注意事項等
 - * 時間厳守 * 白衣着用 * 聴診器持参 * 服装, 態度に注意
 - * 病気等で休む場合は連絡すること。
 - * 学生には, 月曜日朝のカンファレンス後に指導医を紹介する。

循環器・呼吸器外科〈心臓血管外科〉

- 1 集合時間・集合場所
7時30分 ・ 臨床研究棟1階 循環器・呼吸器外科カンファレンス室

- 2 実習概要（実習内容）
 - (1) 術前検査による手術リスク評価，家族・患者への術前手術説明，手術，ICU・6B病棟での術後管理に指導医とともに参加し，その流れを経験する。
 - (2) 成人心臓・血管手術の手順・流れを理解した上で，チームの一員として手術に積極的に参加する。
 - (3) 小児心臓疾患について病態生理を理解して手術を見学し，手術法を学ぶ。
 - (4) 術後管理について，チームの一員として治療に積極的に参加して学ぶ（ICU入室から退院まで）。
 - (5) 血管外科手術，冠動脈バイパス術の手技をドライラボモデル・トレーニングにより学ぶ（手術のない日に第1研究室にて行う）。
 - (6) 緊急手術に参加する（希望者）。

- 3 G I O（一般目標）

循環器疾患の外科治療の適応・手術手技／手順・術後管理を理解し，担当患者の術前準備・手術・術後管理にチームの一員として積極的に参加する（入院から退院まで）。

- 4 S B O（到達目標）
 - (1) 手術リスク評価に必要な検査を計画することができ，その結果を評価する事ができる。
 - (2) 手術の手順・流れを理解した上で，手術チームの一員として手術に積極的に参加する。
 - (3) 心臓手術後の急性期管理を当科医師，ICU医師とともに行う。さらに退院までチームの一員として治療に積極的に参加する。
 - (4) 小児心臓病の外科治療の基本を理解する。

5 スケジュール

	7:30	7:45	8:00	8:30	9:00	13:00	15:00	16:00	17:00	17:30	18:00
月	カンファレンス	病棟 / ICU 回診			手術 / ICU・病棟見学				病棟回診	循環器合同カンファ	
火	理学療法士合同カンファレンス	病棟 / ICU 回診			手術						
水	カンファレンス	病棟 / ICU 回診		教授回診	小児心臓手術見学						
木	退院サマリカンファレンス	外科抄読会		病棟 / ICU 回診	手術		手術ビデオカンファ (不定期)				
金	カンファレンス	病棟 / ICU 回診			外来	手術			病棟回診		

6 評価法

臨床実習現場における口頭試問, レポート, 出席状況

7 その他注意事項

- (1) 病院実習における患者への態度, 言葉遣い, 服装に十分注意する。特に清潔 (手, 爪, 髪の毛) には気をつける。
- (2) 白衣, 聴診器持参。
- (3) 時間厳守。

〈呼吸器外科メイン〉

- ・原則としてローテーターと1対1または1対2でペアを組み、診療の見学を行う（希望人数により抽選になる場合もある）。
- ・術前カンファレンスで担当患者のプレゼンテーションを行う。
- ・緊急手術や気胸等への救急対応を見学したい場合は希望があれば可能である。
- ・心臓血管外科の手術の見学も行う。
- ・状況に応じて指導医のもとで末梢静脈ルートキープ、静脈・動脈採血を行う。
- ・内視鏡手術トレーニングセンターにて鏡視下手術のシミュレーションを体験する。

1 集合時間・集合場所

月 曜	日 = 7:30	臨床研究棟 1階	<u>循環器・呼吸器外科</u> カンファレンス室
火・水	金曜日 = 7:30	前日に連絡	(ICUに患者が入室中の場合はICU)
木 曜	日 = 7:45	臨床研究棟 1階	<u>消化器・総合外科</u> カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

- (1) 4週間を通して胸部外科，特に呼吸器外科の診療に参加しチーム医療を理解する。
手術では術前からの検査所見や診断を理解し，実際に手洗いを行い手術に参加し，外科の実践を会得する。術後は集中治療室，病棟での急性期，亜急性期の診療に参加して，手術後の病態，管理を理解する。
- (2) 病棟では担当患者の診療に参加し，術前術後カンファレンス，回診を通じて胸部外科疾患に関する幅広い知識を養成するとともに，指導教員の下に実践的基本外科手技の实地訓練を行う。
- (3) 外来においては実際の外来診療に参加し，入院前後における知識の理解を深めるとともに，地域病院との連携を理解する。

3 G I O（一般目標）

外科学の一般的技術を理解し，臨床医として診断治療を行うのに必要な基本的態度を習得する。

胸部外科，特に呼吸器外科における特性について理解し，知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

基本的な診察法（医療面接，視診，聴診，打診，触診）を身につける。

外科的手洗い（手術のための手洗い）と衛生的手洗い（病棟診察のための手洗い）をしっかり身につける。

外科的治療に関して，周術期における検査計画や治療計画を立てることができる。

これまでのチュートリアル教育で得た知識と，実際の担当患者から得た情報を対比し，实地体験の重要性を理解する。

5 スケジュール

	7:30	7:45	8:30	9:00	14:00	15:00	16:00	17:30	18:00	
月	術後 Cf		手 術							
火	病棟回診			心外手術見学	手 術				呼吸器 Cf ※	
水	病棟回診			外来見学/ 内視鏡手術 トレーニング	気管支鏡				内科合同 カンファレンス	
木		外科抄読会	病棟回診	手 術						
金	病棟回診			外来見学	手 術	総括 (第2週目)				

- ・病棟回診集合場所は前日連絡（ICU に入室者の居る場合は ICU 集合）（第1週目）
- ・外来見学は外科外来集合
- ・気管支鏡検査は適宜行うが，施行する際は中央放射線室にて見学
- ・総括は第2週目金曜日に臨床研究棟1階循環器呼吸器外科カンファレンス室集合。各自レポートを5分程度で発表

※呼吸器 Cf は毎月第2火曜日に放射線科医局カンファレンス室集合

- ・原則として手術の2日前に術前カンファレンスを行う

6 評価法

臨床実習現場における口頭試問，レポート，出席状況

7 その他注意事項

- (1) 病院実習における患者への態度，言葉遣い，服装に十分注意する。特に清潔（手，爪，髪の毛）には気をつける。
- (2) 白衣，聴診器持参。
- (3) 時間厳守。

整形外科

1 集合時間・集合場所

月	8:00	整形外科医局
火	9:00	手術室
水	9:00	整形外科医局
木	8:00	整形外科医局
金	9:00	整形外科医局

2 実習概要（実習内容）

スケジュール表参照

3 GIO（一般目標）

- (1) 整形外科の基本的な臨床的知識及び技能を身につける。
- (2) 医師としての基本的な好ましい態度や習慣を身につける。

4 SBO（到達目標）

- (1) 外来新来患者さんの診療に参加し、望ましい面接法、問診法を学ぶ。
- (2) 病歴の聴取を行い、心理的、社会的な問題点についても評価する。
- (3) 外来診療及び入院診療に参加し、基本的な整形外科的診察及び徒手検査を行う。
- (4) 問診と診察所見から情報を整理し、問題点や今後の診断法を具体的に述べる。
- (5) 身だしなみ、言動などに注意し、患者さんとの信頼関係を築くための基本を学ぶ。
- (6) 医療行為（特に手術室において）を行う際の清潔・不潔の概念を明確にする。

5 スケジュール

曜日	担当教員	12:00	13:30
月	内尾, 馬庭, 山本, 桑田, 山上, 門脇	手技実習	教授回診, 術前・術後カンファレンス, 抄読会
火	内尾, 馬庭, 山本, 桑田, 山上, 門脇	手術	手術
水	内尾, 馬庭, 山本, 桑田, 山上, 門脇	手技実習	手技実習ほか
木	内尾, 馬庭, 山本, 桑田, 山上, 門脇	抄読会, 手術	手術, 術前カンファレンス
金	内尾, 馬庭, 山本, 桑田, 山上, 門脇	病棟実習報告	手術

6 評価法

- (1) 実習中の学力、態度、積極性、協調性などを総合評価する。
- (2) 実習最終日の病棟実習報告でまとめとし、レポート提出を義務づける。

7 その他注意事項等

- (1) 第2ラウンドであるので、医学知識の応用を心がけること。何事にも積極性を持って対応し、学ぶことを希望する。
- (2) 手術室では清潔・不潔の概念を明確にすること。
- (3) 集合時間の厳守。

リハビリテーション科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 9:00
- (2) 集合場所 外来3階リハビリテーション室

2 実習概要

- (1) 「障害」の診断, 治療計画について学ぶ。
- (2) 急性期, 回復期, 生活期のリハビリテーションについて学ぶ。
- (3) 理学療法, 作業療法, 言語聴覚療法の概要について学ぶ。
- (4) リハビリテーション医学におけるチーム医療, チームアプローチを学ぶ。

3 GIO (一般目標)

障害の診断, 治療計画について学習し, 急性期, 回復期, 生活期リハビリテーションの流れを理解する。

4 SBO (到達目標)

- (1) 「障害」の評価ができる。
- (2) 治療計画を立案できる。
- (3) リハビリテーション関連職種の業務を理解する。
- (4) チームアプローチについて理解する。
- (5) 急性期, 回復期, 生活期リハビリテーションの連携について理解する。

5 スケジュール

- 月 午前: 外来 (第1週はオリエンテーション)
午後: カンファレンス (0:50~), 外来
- 火 午前: 外来
午後: 検査 (ビデオ嚙下造影, ビデオ内視鏡), 補装具外来 (月1回)
- 水 午前: 生活期リハビリテーションの見学 (訪問リハビリテーション)
午後: 検査
- 木 午前: 回復期リハビリテーションの見学
午後: 検査 (最終週は総括)
- 金 午前: 外来
午後: 検査

6 評価法

出席状況, 実習態度, プレゼンテーション, レポートの提出

7 その他注意事項

- (1) 服装・態度に注意する。
- (2) 患者さんへの接遇に注意する。

脳神経外科

1 集合時間・集合場所

5 スケジュール表を参照のこと

2 実習概要（実習内容）

- (1) 手術見学及び手術ビデオ研修
- (2) 回診及びカンファレンス・英文抄読会への参加
- (3) 補助検査の見学・読影。実習レポート及び関連文献の提出
- (4) 病理検討
- (5) 学習及び教育効果の相互評価
- (6) マイクロサージャリーの実習（研究室でのシミュレーション）

3 G I O（一般目標）

将来いずれの専門分野を専攻しようとも、卒後、医療に第一歩を踏み出し、効果的な臨床研修が遂行できるために、脳神経外科領域における基本的な臨床能力としての知識と技能および患者さんに対する態度やマナー、そして医療人としての望ましい習慣を身につける。

4 S B O（到達目標）

- (1) 脳神経外科学の診療において必要な検査を計画する。
- (2) 診断・治療に関連した処置や操作について基本的手技を行う。
（例えば、消毒・手洗い・ガウンテクニック・脳血管撮影・マイクロサージャリー実習など）
- (3) 患者さん情報を適切に要約し、文献検索などを積極的に活用し提示する。

5 スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50 外来・中央診療棟1階 脳神経外科外来ポ リクリ準備室 集合 患者紹介・資料説明 手術見学	8:30 外来・中央診療棟1階 脳神経外科外来ポ リクリ準備室 集合 症例検討 検査見学	別途指示 外来・中央診療棟1階 脳神経外科外来ポ リクリ準備室 集合 症例検討 症例検討	8:30 外来・中央診療棟1階 脳神経外科外来ポ リクリ準備室 集合 症例発表・討議 血管内治療見学	8:30 外来・中央診療棟1階 脳神経外科外来ポ リクリ準備室 集合 抄読会 症例総合討論
午後 回診	検査見学 血管内治療見学		回診・カンファレンス 病理検討会	マイクロサージャリー オリエンテーション トレーニング

6 評価法

出席点, レポート

*指導医評価表と自己評価表を活用する。

7 その他注意事項等

- (1) 患者さんに接するのにふさわしい服装・言動
- (2) 患者さんの個人的秘密を厳守（患者さんのデータのプリントアウトや電子媒体へのコピー 禁止）
- (3) 白衣, 筆記用具持参

泌 尿 器 科

1 集合時間・集合場所

- | | | | | |
|----------|---|------|----------|--------|
| (1) 集合時間 | 月 | 8:15 | 臨床研究棟 2階 | 泌尿器科医局 |
| (2) 集合場所 | 火 | 9:00 | B病棟 5F | |
| | 水 | 8:15 | 臨床研究棟 2階 | 泌尿器科医局 |
| | 木 | 9:00 | B病棟 5F | |
| | 金 | 8:15 | 臨床研究棟 2階 | 泌尿器科医局 |

2 実習概要（実習内容）

指導医がマンツーマンで対応する。

3 G I O（一般目標）

- ・腎・尿路・男子生殖器疾患の診断・治療法を理解する。
- ・腎不全の診断・治療法を理解する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 問診と理学的検査を行う。
- (2) 診断に必要な検査を計画する。
- (3) 血液浄化治療に関する知識を習得する。
- (4) 腎移植に必要な検査を理解する。
- (5) 内視鏡検査に関する知識を習得する。
- (6) 画像の読影を行う。
- (7) 手術に参加し、主治医とともに術後管理を行う。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:15	9:00	12:30	13:30	14:30	16:50
月	}	手術			手術		
火			回診, 外来 血液浄化治療部		病棟実習		
水		手術			手術		
木			外来		血液浄化治療部	外来	
金		手術			手術	総括	

※月曜日 8:15 に医局で週間予定表を渡すので、各自確認すること。

6 評価法

レポート

7 その他注意事項等

時間厳守

精神科神経科

1 集合時間・集合場所

曜日	時間	場所	時間	場所
月	9:00	A 病棟 8 階 スタッフステーション	13:15	B 病棟 8 階 カンファレンスルーム
火	9:00 ※	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1・2 週目) 13:30 15:00	精神科神経科外来 5 診 A 病棟 8 階
			(3・4 週目) 13:30 15:00 15:30	精神科神経科外来 5 診 A 病棟 8 階 精神医学 3 医局
水	(1・2・4 週目) 9:00	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1・2・4 週目) 13:00 14:30 15:00	A 病棟 8 階 A 病棟 8 階 デイルーム A 病棟 8 階
	(3 週目) 9:30	海星病院	(3 週目) 13:30 14:30 15:00	A 病棟 8 階 A 病棟 8 階 デイルーム A 病棟 8 階
木	(1・2・3 週目) 9:00	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1・3 週目) 13:00	A 病棟 8 階
	(4 週目) 11:00	精神医学 3 医局	(2・4 週目) 13:00 16:00	A 病棟 8 階 精神科神経科外来 5 診 または精神医学 3 医局
金	9:00	精神科神経科外来 スタッフ廊下	13:00	A 病棟 8 階

※ 実習 1 週目の月曜日が休日に当たる場合、翌日火曜日は 9:00 に A 病棟 8 階に集合、9:30 より精神科神経科外来スタッフ廊下へ集合

2 実習概要 (実習内容)

- (1) 外来・入院患者の診察の見学及び実習を行う。
- (2) 院外実習として、単科精神病院の施設見学を行う。
- (3) レポートを作成し、翌週月曜日までに精神医学事務室へ提出する。
- (4) 担当教員と適宜相談しながら担当症例のプレゼンテーションをすることができる。

3 GIO（一般目標）

- (1) 精神神経疾患の主要症状について理解する。
- (2) 診断に必要な知識と技術について理解する。
- (3) 薬物療法や精神療法の意味について理解する。
- (4) 単科の精神病院の中で求められる精神科医療の役割について理解する。
- (5) 総合病院の中で求められる精神科医療の役割と限界について理解する。
- (6) 大規模単科精神科病院の中で行われているリハビリテーションの役割について理解する。
- (7) 精神科医療の中で求められる地域連携の役割について理解する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 疾患についての原因，病態，治療，予後について検討できる。
- (2) 入院患者の診察，面接技術を習得する。
- (3) 担当患者と生活全体を通じた関わりを持ち，疾患を抱えた一個人として理解できるよう務める。

5 スケジュール

(1) 1週目

曜日	担当教員	9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	稲垣 他	オリエンテーション	病棟実習			13:15	教授回診・カンファレンス		
火	長濱 他	外来実習※1			自習	13:30	リエゾン回診	病棟実習	
水	橋岡 他	外来実習				病棟実習 14:30-15:00 病棟レクリエーション			
木	佐藤 他	外来実習				病棟実習			
金	三浦 他	外来実習				病棟実習			

※1 1週目の月曜日が休日の日は，火曜日9：00からA病棟8階でオリエンテーションを実施，9：30から外来実習とする。

(2) 2週目

曜日	担当教員	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
月	稲垣 他	病棟実習				13:15	教授回診・カンファレンス		
火	長濱 他	外来実習			自習	13:30	リエゾン回診	病棟実習	
水	橋岡 他	外来実習				病棟実習 14:30 - 15:00 病棟レクリエーション			
木	佐藤 他	外来実習				病棟実習			講義
金	三浦 他	外来実習				病棟実習			

(3) 3週目

曜日	担当教員	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	稲垣 他	病棟実習※2			13:15 教授回診・カンファレンス			
火	長濱 他	外来実習		自習	13:30 リエゾン回診	病棟 実習	PBL	
水	河野 他	9:30 院外実習 海星病院 ※2			13:30 病棟実習 14:30 - 15:00 病棟レクリエーション			
木	佐藤 他	外来実習			病棟実習		講義	
金	三浦 他	外来実習			病棟実習			

※2 実習3週目水曜日午前：海星病院の院外実習を行うが、詳細はオリエンテーション時に説明する。

(4) 4週目

曜日	担当教員	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	稲垣 他	病棟実習				13:15 教授回診・カンファレンス				
火	長濱 他	外来実習				自習	13:30 リエゾン回診	病棟 実習	PBL	
水	橋岡 他	外来実習				病棟実習 14:30-15:00 病棟レクリエーション				
木	林田 他	自習	ミニセミナー			病棟実習				
金	三浦 他	外来実習				病棟実習				

6 評価法

履修態度と理解の程度を、口頭試問およびレポートも参考にして担当教員が評価する。

7 その他注意事項

- (1) 時間厳守，無断欠席は不可，必ず届出をすること。
- (2) 服装，態度など，患者に不快感を与えないように注意すること。
- (3) 白衣，名札，ノート，筆記用具を持参すること。

産科婦人科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 午前8時30分
- (2) 集合場所 3階B病棟ナースステーション

2 実習概要（実習内容）：クリニカルクラークシップを実践する。

- (1) 外来で、新患者の医療面接、内診・検査の見学および再来患者の診察を見学し、レベルⅠ・Ⅱの医行為（子宮底・腹囲の測定、レオポルド触診、胎児心音聴取など）を主治医の指導のもとに実践する。
- (2) ベッドサイドティーチング（1週間、数名の病棟患者を受け持ち、主治医1名とマンツーマンで病棟実習を行う。）
- (3) 生殖補助医療（外来、検査、体外受精・胚移植）の見学を行う。
- (4) 婦人科化学療法、放射線療法の見学を行う。
- (5) 手術見学、介助を行う。
希望により（3）、（4）、（5）を自由に実習できる。
- (6) 希望者は当直を行い、分娩見学および産婦人科救急への対応を見学する。
- (7) 正常新生児の診察を主治医のもとで実践する。
- (8) NICUでの新生児（未熟児）診療実習を行う。
- (9) 希望があれば5年生と共に講義（ミニレクチャー）を受講できる。
- (10) 病理・MRIカンファレンス、放射線治療カンファレンス、NICUカンファレンスに参加する。
- (11) 抄読会（水曜日、午前8時30分 医局カンファレンスルーム）に参加する。
- (12) 希望に応じて、関連病院産婦人科での臨床実習を行う。

3 GIO（一般目標）

- (1) 産科婦人科医療に必要な基本的診断および治療のプロセスを理解できる。
- (2) レベルⅠ・Ⅱの医行為が実践できる。

4 SBO（到達目標）

- (1) 外来新患者の医療面接ができる。
- (2) 外来診療において、診断に必要な検査プランの立案・鑑別診断の進め方・治療法を選択が理解できる。
- (3) 産婦人科診療の検査法を見学し、理解できる。
- (4) 入院患者の診断から治療までを、自らの知識をもとに考え、検査に立ち会い、主治医とのディスカッションや文献的考察をすることにより、解決する能力が修得できる。
- (5) 分娩を第1期から出産まで見学し、分娩の過程が理解できる。
- (6) ハイリスク妊娠の診断と母体管理の実際が理解できる。
- (7) ハイリスク妊婦から出生した新生児（未熟児）のNICUでの管理について理解できる。
- (8) 手洗いをして手術に立ち会い、手術の基本的な手技が理解できる。

5 スケジュール

個々の希望に応じて、実習内容を決めます。

6 評価法

感想文（レポート）提出

7 その他注意事項等

- (1) 時間厳守。患者さんの個人情報厳守。
- (2) 医学生としてふさわしい服装や言動，行動をすること。
- (3) 白衣をつけ，靴を履き（サンダルは禁止）患者さんに不快感を与えないような服装に配慮すること。
- (4) 周産期医療，生殖補助医療，婦人科腫瘍，思春期・更年期医療など特に興味のある分野があれば申し出てください。

耳鼻咽喉・頭頸部外科学（耳鼻咽喉科感覚器領域・頭頸部外科領域）

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8：15
- (2) 集合場所 B病棟8階ナースステーション

2 実習概要（実習内容）

新専門医制度に対応し、耳鼻咽喉科認定専門医を目指す専修生となるために必要な耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学の臨床現場の体験を通じて、耳鼻咽喉科学の専門性について学ぶ。

3 GIO（一般目標）

耳鼻咽喉科疾患の中で専門性の高い疾病の診断・治療さらには患者管理についてその詳細を学ぶ。

4 SBO（到達目標）

- (1) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の代表的な疾患に関して、病態を考察し診断や治療計画を立てることが出来る（主治医の下で、入院患者の担当となる，**A**）。
- (2) 耳科手術，鼻科手術、内視鏡下鼻副鼻腔手術の内容について習熟する（ビデオ供覧と実技指導，**B**）。
- (3) 最新の診療技術（endoscopic ear surgery, navigation-assisted endoscopic sinus surgery, transoral videolaryngoscopic surgery, transoral robotic surgery, cochlear implant surgery）についてビデオを使った視覚的講義を受け，耳科，鼻科，口腔咽頭科，喉頭科，気管食道科領域の手術，頭頸部癌の根治的手術と再建手技への理解を深める，**C**。さらに，めまい症例については，中枢性めまい，末梢性めまい症例の眼振や，眼球運動異常などの多彩な症状について，赤外線 CCD 装置で撮影したビデオを鑑賞し，病態を理解する（資料を用いた演習と講義，ビデオ視聴，**D**）。
- (4) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における救急疾患について理解を深め，緊急時の対応や治療の概要を理解する（資料を用いた演習と症例提示，実技指導，**E**）。
- (5) 耳鼻咽喉科領域における薬物療法について，有効性の機序と起こりうる adverse event について理解する（資料を用いた演習と事例の呈示，**F**）。
- (6) 代表的な疾患に対する保存的治療や外科的治療について，患者から承諾（informed consent）を得る場合の実際例について体験する（患者や主治医との同席，**G**）。
- (7) 頭頸部癌患者の治療における緩和医療や終末期医療について主治医と共に体験し，実践的な運用について理解する（患者や主治医との同席，**H**）。
- (8) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域で使用する主な医療器具や材料に関して，知識を深める（材料部訪問，**I**）。
- (9) 耳鼻咽喉科領域における，基礎研究・臨床研究の内容や今後の方向性について，その概略を理解する（研究室での紹介，**J**）。
- (10) 耳鼻咽喉科専門医，頭頸部がん専門医（指導医），気管食道科学会認定医，補聴器相談医などの専門医制度と社会的貢献について理解する（講義，**K**）。
- (11) 新たな専門医制度の中で，耳鼻咽喉科専門医の果たす役割について理解を深める（講義，**L**）。
- (12) 島根県の地域医療における耳鼻咽喉科専門医の果たす役割について理解する（講義，**M**）。

5 スケジュール 1・3週目

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30	15:00	17:00
月	青井 他	オリエンテーション (病棟患者紹介) 手術体験			手術体験 外来での診療基本手技の解説	
火	森倉・淵脇 清水香 他	外来実習 課題演習・ビデオ視聴			病棟実習 課題演習・ビデオ視聴	
水	森倉 他	クリニカルカンファレンス (外来, 病棟)			手術体験 鼻アレルギー外来 【舌下免疫療法】	
木	青井・清水 清水香・柴田 他	外来実習 課題演習 (救急症例)			平衡機能検査実習 顔面神経機能検査実習 課題実習 (めまい症例)	
金	青井 他	手術体験 課題演習			手術体験	

スケジュール 2・4週目

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30	15:00	17:00
月	青井 他	手術体験 課題演習			手術体験 課題演習	
火	森倉・淵脇 清水香 他	外来実習 課題演習・ビデオ視聴			病棟実習 聴覚・嗅覚・味覚機能検査実習	
水	森倉 他	クリニカルカンファレンス (外来, 病棟)			手術体験	Informed consent 実習
木	青井・清水 他	病棟実習 課題演習			症例発表 (各人) 口頭試問・総評	
金	青井 他	手術体験 課題演習			手術体験 課題演習	

6 評価法

実習態度及び口頭試問で評価を行う。

7 その他注意事項等

- (1) 患者さん及び家族に接する際は臨床実習に携わる医学生として適切な言動に留意すること。
- (2) 臨床実習にあてられた期日, 時間を無駄にすることがないように体調には万全を期し, 欠席しないこと。

眼 科

1 集合時間・集合場所

- | | | | |
|----------|---|------|----------------|
| (1) 集合時間 | 月 | 8:15 | 眼科医局カンファレンスルーム |
| (2) 集合場所 | 火 | 8:00 | 眼科医局カンファレンスルーム |
| | 水 | 8:15 | 眼科医局カンファレンスルーム |
| | 木 | 8:15 | 眼科医局カンファレンスルーム |
| | 金 | 8:15 | 眼科医局カンファレンスルーム |

2 実習概要（実習内容）

スケジュール表参照。

3 G I O（一般目標）

眼科診療の実際に参加し、理解する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 主要疾患の知識を外来及び入院診療に活用できる。
- (2) 主要疾患の手術適応、不適応、合併症及び手術理論と手技を検討できる。
- (3) 主要疾患の病因・臨床所見・治療方針を判断できる。

5 スケジュール

曜日	担当教員	午前	午後
月	個別に指導医を指名する	8:15 医局カンファレンスルーム 9:00 外来検査・診察	15:00 病棟回診・カンファレンス
火	個別に指導医を指名する	8:00 医局カンファレンスルーム (抄読会) 9:00 外来検査・診察・手術	手術
水	個別に指導医を指名する	8:15 医局カンファレンスルーム 9:00 外来検査・診察	自習
木	個別に指導医を指名する	8:15 医局カンファレンスルーム 9:00 外来検査・診察・手術	手術
金	個別に指導医を指名する	8:15 医局カンファレンスルーム 9:00 外来検査・診察	自習

6 評価法

出席点，履修態度，レポート

7 その他注意事項等

・特になし

放射線科

1 集合時間・集合場所

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
集合時間	9:00	12:45	8:00	12:45	9:00	12:45	9:00	12:45	9:00	12:45
集合場所	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線部 血管室	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線部 ポリクリ	放射線部 血管室	放射線部 ポリクリ	放射線部 血管室	放射線部 ポリクリ	放射線部 血管室

火曜日 8時～放射線科で朝カンファレンス

2 実習概要（実習内容）

- (1) X線写真, CT, MR, 核医学, 血管造影等の画像診断手技の見学と各種疾患の画像診断に関する読影実習。
- (2) IVR (Interventional Radiology) の適応決定のプロセスや治療の実際を見学する。
- (3) 火曜日朝 8時～の朝カンファレンスおよび夕方の各科とのカンファレンス, 研究会に参加する。

3 G I O（一般目標）

放射線診断学, IVR の基礎知識を基に代表的疾患の診断・治療に関する知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 中枢神経系の正常解剖について説明でき, 代表的な疾患を列挙して, その画像上の特徴を記述できる。
- (2) 肺・縦隔の正常解剖について説明でき, 代表的な疾患を列挙して, その画像上の特徴を記述できる。
- (3) 腹部・消化管の正常解剖について説明でき, 代表的な疾患を列挙して, その画像上の特徴を記述できる。
- (4) 骨盤の正常解剖について説明でき, 代表的な疾患を列挙して, その画像上の特徴を記述できる。
- (5) 乳腺・小児の正常解剖について説明でき, 代表的な疾患を列挙して, その画像上の特徴を記述できる。
- (6) 血管造影の方法・基本的手技について理解する。
- (7) IVR の対象となる代表的疾患を列挙できる。
- (8) IVR の一般的な治療方法を説明できる。
- (9) IVR の適応・合併症が説明できる。

5 週間スケジュール

曜日	担当教員 AM/PM	9:00	11:45	12:45	15:00	16:50
月	北垣/IVR担当医	画像診断実習			IVR 検査見学, 報告準備	
火	火曜担当/北垣	8:00～カンファレンス 9:00～モニター診断実習			症例検討	
水	水曜担当/IVR担当医	画像診断実習			IVR 検査見学, レポート作成	
木	木曜担当/IVR担当医	画像診断実習			IVR 検査見学, レポート作成	
金	金曜担当/IVR担当医	画像診断実習			IVR 検査見学, レポート作成	

午後, IVR の検査がない時は画像診断 (IVR, 又は消化管)

午前の月間スケジュール

時期	月	火	水	木	金
1 週目	頭部初級	頭部中級	頭部上級	骨軟部	乳腺
2 週目	胸部初級	胸部中級	胸部上級	小児	核医学
3 週目	腹部初級	腹部中級	腹部上級	骨盤初級	骨盤中級
4 週目	応用 1	応用 2	応用 3	応用 4	応用 5
カンファレンス (夕方)	放科・婦人科 (月 1 回)	放科・神経内科 (月 1 回)	放科・呼吸器内科 (月 1 回)	放科・肝臓内科 (月 1 回)	講演会 (月 1 回)

6 評価法

各担当教員が達成度をチェックして評価

7 その他注意事項等

教科書・ノート・筆記用具持参

患者さんに不快感を与えない服装

放射線治療科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 9:00 実習初日の集合時間は9:30(2日目以降の集合時間は初日に連絡)
- (2) 集合場所 放射線治療計画室(それ以降は随時連絡するので担当教員の指示に従うこと)

2 実習概要(実習内容)

- (1) 放射線治療の基礎となる放射線腫瘍学に関する知識の習得と整理を行う。
- (2) 放射線治療の適応決定のプロセスや治療の実際を見学する。
- (3) 腔内照射や組織内照射の治療に参加し実際の治療を体験する。
- (4) 診療各科と随時行っているカンファレンスに参加し各科との連携について学ぶ。

3 GIO(一般目標)

放射線腫瘍学の基礎知識を基に代表的疾患の治療に関する知識の習得と実際の放射線治療の現場を体験し、基本的な治療計画のプロセスを習得する。

4 SBO(到達目標)

- (1) 放射線治療の基礎となる放射線腫瘍学・放射線生物学の知識を習得する。
- (2) 癌診療における放射線治療の意義と目的を理解する。
- (3) 放射線治療の適応となる代表的な疾患の治療方針・方法を修得する。
- (4) 放射線治療の適応を評価するために必要な画像評価やその他の検査結果の評価法を理解する。
- (5) 放射線治療計画の基本を習得し概要を修得する。
- (6) 放射線治療の有害事象と対策を理解する。
- (7) 密封小線源治療の基本を習得し、概要を理解する。
- (8) アイソトープ治療の基本を習得し、概要を理解する。
- (9) 放射線被曝と防護の必要性と方法について修得する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00	12:30 13:30
月	玉置/玉置	オリエンテーション, 外来(初診), アイソトープ治療, 入院診療	放射線治療計画, 血内・婦人科・呼吸器カンファレンス
火	玉置・稗田/ 玉置・稗田	外来(初診, 再診), アイソトープ治療, 入院診療	放射線治療計画, 密封小線源治療(腔内照射), 診療科長回診, 放射線治療カンファレンス, 乳腺・泌尿器・頭頸部・甲状腺カンファレンス
水	玉置・稗田/ 玉置・稗田	外来(初診, 再診), アイソトープ治療, 入院診療	放射線治療計画, 密封小線源治療(組織内照射), 放射線治療カンファレンス, キャンサーボード, 放射線治療セミナー(随時)
木	稗田/稗田	外来(初診), アイソトープ治療, 入院診療	放射線治療計画
金	玉置・稗田/ 玉置・稗田	外来(初診), 入院診療	放射線治療計画, 密封小線源治療(腔内照射), 放射線治療カンファレンス, 放射線治療セミナー(随時)

6 評価法

各担当教員が達成度をチェックして評価する。

7 その他注意事項等

教科書(やさしくわかる放射線治療学:秀潤社)・ノート・筆記用具持参
患者さんに不快感を与えない服装を心がける

麻 醉 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 C病棟3階手術部 麻酔記録室

2 実習概要（実習内容）

周術期管理（手術麻酔，術前術後管理）・集中治療管理・ペインクリニック・緩和ケアにおける管理について，個々の症例を通して学習する。どの分野においても全身管理の必要性を再認識し，特に循環・呼吸管理・麻酔方法・薬剤の使用，モニタリング・疼痛管理など全身管理に対する意義について認識を深める。医師に求められる責任を自覚し，医療者の一員として，医療行為の実践に努める。

3 GIO（一般目標）

麻酔科学（麻酔，集中治療医療，ペインクリニック，緩和医療）に関わる知識のみならず，医療技術，医療人としての行動を身につける。

4 SBO（到達目標）

- (1) 周術期における麻酔・全身管理の必要性を説明できる。
- (2) 代表的な麻酔法を挙げ，それぞれの特徴を説明できる。
その特徴を踏まえ，担当患者に適切な麻酔方法を選択できる。
- (3) 代表的な麻酔薬の薬理学的特徴を述べるができる。
その特徴を踏まえ，麻酔計画を立案し，発表できる。
- (4) 術前訪問を行い，担当患者の術前合併症を挙げ，対応を説明できる。
- (5) 循環作動薬の特徴を理解し，投与できる。
- (6) フェイスマスク・エアウェイを用いた気道確保ができる。
このとき，換気の有効性を評価できる。
- (7) 末梢静脈路を確保できる。
- (8) 全身麻酔中に，鎮静・鎮痛・筋弛緩の程度を評価し，麻酔薬を投与できる。
- (9) 麻酔中に，モニター（ECG，BP，SpO₂，体温など）を評価し，フィジカルアセスメントを行い，対応できる。
- (10) 輸液の投与計画を立案し，実施できる。
- (11) 全身麻酔中に人工呼吸器の設定ができる。
- (12) 術後疼痛管理方法を挙げ，患者にあった方法を選択できる。
- (13) 術後訪問を行い，合併症の有無・問題点を考察できる。
- (14) 集中治療の適応疾患を記述できる。
- (15) 集中治療における全身管理における治療戦略を討議する。
- (16) 集中治療を受ける患者の身体所見をとることができる。
- (17) 集中治療を受ける患者の重症度評価を行い，プレゼンテーションを行うことができる。
- (18) ベッドサイドにおいて心臓・肺の超音波検査を実施できる。
- (19) 敗血症の診断及び管理について記述できる。
- (20) 人工呼吸療法・酸素療法の種類と特徴を列挙できる。
- (21) 医療者向けのBLSを実践できる。
- (22) 患者急変時のACLSや循環呼吸管理について説明できる。
- (23) 重症患者ケアのチームに参加する。

- (24) 集中治療患者における疼痛管理・鎮痛管理・せん妄管理・早期離床の重要性を理解する。
- (25) ペインクリニックの適応となる疾患とその治療法を記述できる。
- (26) 代表的な神経ブロック法や慢性疼痛治療薬の特徴を説明できる。
- (27) 緩和ケアにおける苦痛を全人的苦痛として評価することができる。

5 スケジュール

4週にわたり、周術期管理コース、集中治療コース、ペインクリニック・緩和コースの中から選択し実際に患者を担当し臨床実習を行う。1～2週ごとにコースの変更も可。

麻酔・集中治療・ペインクリニック分野における最近のトピックス、シミュレーションを用いた循環呼吸管理など講義を開催。回診、カンファレンスなどに参加し、幅広く知識を身につけていく。

麻酔担当教員：齊藤，佐倉，今町，二階，本岡，松田，横井信，森，山本花，榊原賢，
橋本愛，蓼沼，日下，青山，太田絢，平林，上田愛，松尾，石倉聡，
郡司，八幡，足立，長野，石倉凱，加藤，辻，大岡，市富

集中治療担当教員：齊藤，二階，三原，松田，太田淳，和田，片山

ペインクリニック・緩和担当教員：齊藤，中谷，橋本龍，須藤，本岡

総合討議担当：齊藤

6 評価法

レポート，口頭試問，ポートフォリオ，チェックリスト，ディスカッション，
Advanced OSCE（最終日）

緩和ケア

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間：午前8時30分
- (2) 集合場所：緩和ケア病棟（C5）スタッフステーション

2 実習概要（実習内容）

緩和ケア病棟・外来で主治医の指導の下に臨床実習を行い、多職種カンファレンスに参加してチーム医療を学ぶことで、緩和ケアの基本を習得する。

3 GIO（一般目標）

緩和ケアの現場で、緩和ケアの概念・病態とその対応、およびチーム医療を行うための基本を習得する。

4 SBO（行動目標）

- (1) 緩和ケアの概念について理解する。
- (2) 根治が難しい疾患の病態を理解する。
- (3) 全人的な苦痛を理解して、その分類ができる。
- (4) 痛みを緩和するための知識とその対応法を理解する。
- (5) 痛み以外の症状についての知識とその対応法を理解する。
- (6) チーム医療の必要性とその構成について学ぶ。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8：30	12：30	13：30
月	齊藤 中谷 橋本 須藤	オリエンテーション、病棟実習		病棟カンファレンス・実習
火		病棟実習		病棟・チームカンファレンス
水		外来実習		病棟カンファレンス・レクチャー
木		病棟実習		病棟カンファレンス・レクチャー
金		病棟実習		まとめ、試問

6 評価法

レポート，口頭試問

7 その他注意事項等

時間を守ること。患者さん・ご家族に不快感を与えない身だしなみと態度をすること。
患者さん・ご家族のプライバシーを守ること。

歯科口腔外科

- 1 集合時間・集合場所
 (月) 8:45・医学部附属病院3階(歯科口腔外科外来)
 (火)～(金) 9:00・同上
- 2 実習概要(実習内容)
 歯科口腔外科および口腔ケアセンターの外来・入院診療や手術を見学・介助し、カンファレンスおよび入院患者さんの総回診に出席する。
- 3 GIO(一般目標)
 全人的医療の中での口腔顎顔面の重要性を理解し、実践する。
- 4 SBO(到達目標)
 - (1) 診療を見学・介助し、歯科口腔外科の診療内容について理解する。
 - (2) 口腔顎顔面の疾病についての病因、病態、治療、予後について説明できる。
- 5 スケジュール

曜日	担当教員	午 前	昼休憩	午 後
月	管野・狩野 秀島・松田	8:45～12:30 ・オリエンテーション ・病棟処置, 手術介助	12:30 ～ 13:30	13:30～16:00 ・手術介助
火	管野・狩野 秀島・松田	9:00～12:30 ・病棟処置, 外来診療介助	同上	13:30～15:30 ・外来診療介助
水	管野・狩野 秀島・松田	9:00～12:30 ・病棟処置, 手術介助	同上	13:30～16:00 ・手術介助
木	管野・狩野 秀島・松田	9:00～12:30 ・病棟処置, 外来診療介助	同上	13:30～15:30 ・外来診療介助 15:30～16:30 ・総回診, カンファレンス
金	管野・狩野 秀島・松田	9:00～12:30 ・手術介助	同上	13:30～16:00 ・手術介助

- 6 評価法
 ・出席状況, 履修態度
- 7 その他注意事項等
 ・時間厳守
 ・服装, 身だしなみに気をつけること
 ・患者の個人情報の秘匿

臨床検査医学 検査部・輸血部

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 午前 9:00 午後 13:30
 (2) 集合場所 外来棟2階 検査部ポリクリ室

2 実習概要（実習内容）

5年生の必修基本実習で学んだ臨床検査医学・輸血医学の知識と技術を基礎として、さらに発展的なレベルの実技演習とトレーニングを行う。また、提示される症例の臨床検査や画像データの判読を通して、臨床的な判断を育成する。

3 GIO（一般目標）

臨床検査の意義、手技と方法、検査値とその解釈を学ぶトレーニングを通して、臨床検査に包含されたピットフォールとその留意点を学び、臨床診断と経過観察における臨床検査の有用性を理解し、修得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 検査オーダーから測定までの手順を学び、測定を行う。
- (2) 尿沈渣標本、末梢血・骨髓塗沫標本、細菌塗沫標本を作製、鏡検し、疾患の診断プロセスを学ぶ。
- (3) 血液凝固、血液生化学、免疫検査の病的意義を理解し、実際の診断に利用できる。
- (4) フローサイトメーターの原理を理解し、結果を正しく解釈できる。
- (5) 筋電図、神経伝導速度、脳波を記録し、代表的疾患の診断的価値を学ぶ。
- (6) 心電図、各種エコー検査、呼吸機能検査を判読し、異常となる各種疾患を学ぶ。
- (7) 症例の臨床検査成績から臨床診断および治療経過の推察を行う（Reversed CPC）ことにより、臨床検査成績を解釈し説明する。
- (8) 採血、生理検査の方法について学び、手技を習得する。
- (9) NST（栄養サポートチーム）を体験し、チーム医療の理解を深める。

5 スケジュール：1週間を1クールとする

曜日	担当教員	9:00	12:30	13:30	16:30
月	矢野	オリエンテーション, RCPC, 小テスト		動脈血液ガス実習	
火	荒木, 佐藤	病理検査演習		生化学検査実習	
水	足立, 兒玉, 野畑	血液検査実習		NST 回診	
木	馬庭, 吉富	免疫・微生物検査実習		循環器検査実習・演習	
金	新田, 濱田	生理学検査実習		採血実習	

6 評価法

実習態度及び実習中の口頭試問で評価する。必要に応じて小テストを行う。

7 その他注意事項等

集合時間を守ること。

病 理 部

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 午前 9：00 午後 13：00
 (2) 集合場所 病院2階 病理部

2 実習概要（実習内容）

5年生の必修基本実習で学んだ病理標本作製法や診断過程の知識を基礎として、実際の症例を用いて、医師の指導の下、病理診断を行い報告書を作成する。

3 GIO（一般目標）

標本作製から病理診断報告までの過程を詳細に学び、その臨床における重要性や問題点を体験する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 病理オーダーから報告までの過程を説明できる。
- (2) 術中迅速病理診断を体験し、その方法を説明できる。
- (3) 組織標本作製の過程を説明できる。
- (4) 免疫染色の原理と過程を説明できる。
- (5) 細胞診標本作製の過程を説明できる。
- (6) 医師の指導のもと、外科切除標本の画像撮影、固定、肉眼的及び組織学的観察を行い、病理診断の報告書を作成する。
- (7) 生検組織の処理過程を説明出来る。
- (8) 医師の指導のもと、生検組織標本を観察し、診断結果を生検カンファレンスで報告する。
- (9) 臨床各科とのカンファレンスや抄読会に参加する。
- (10) 病理解剖に参加する。

5 スケジュール

曜日	担当	9：00	12：00	13：00	14：00	16：30
月	病理部 医師	手術材料処理，術中迅速見学，手術症例の鏡検		手術材料	生検カンファ	病理各論講義（石川） 手術材料 組織標本作製手技
火	病理部 医師	手術材料処理，術中迅速見学，手術症例の鏡検		OSNA見学	生検カンファ	病理各論講義（丸山） 手術材料 免疫染色標本作製手技
水	病理部 医師	手術材料処理，術中迅速見学，手術検体報告書作製		報告書作製	生検カンファ	生検材料 細胞診標本作製手技
木	病理部 医師	手術材料処理，術中迅速見学，鏡検，生検検体鏡検		生検検体	生検カンファ	病理各論講義（荒木） 生検報告書作製
金	病理部 医師	生検・手術材料鏡検		鏡検	生検カンファ	生検・手術材料報告書作製

6 評価法

実習態度及び実習中の口頭試問で評価する。

7 その他注意事項等

- (1) 集合時間を守ること。
- (2) 病理検体を扱う上でも患者の尊厳と利益を常に意識すること。

救 急 医 学

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 初日 9:00
- (2) 集合場所 救急外来カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

救急患者（ウォークイン，救急車）の患者の診療に参加する。
最終日に症例報告を行う。
5年生へミニレクチャーを行う（希望者）。

3 G I O（一般目標）

救急患者に対する実践的な診療能力を身につける。
救急患者の診療内容を口頭及び症例報告形式でプレゼンテーションすることが出来る。
患者の気持ちに寄り添った診療を行うことが出来る。

4 S B O（到達目標）

- (1) 多数の患者の診療を自分でを行い実践的な診療能力を身につける。
- (2) 初期診療におけるバイタルサインの重要性を説明できる。
- (3) 緊急度を評価でき，診断・治療の計画を立案できる。
- (4) 重大な病変を見逃すことなく診断できる。
- (5) common disease に対する基本的な戦略を立案できる。
- (6) 患者さんそれぞれに適切な治療方針を説明できる。
- (7) 患者さん，家族に対する適切な接し方を習得する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00～18:00	18:00～23:00
月	救急救命 センター スタッフ 医師	カンファレンス，ER 診療	夜勤業務
火		カンファレンス，ER 診療	夜勤業務
水		カンファレンス，ER 診療	夜勤業務
木		カンファレンス，ER 診療	夜勤業務
金		カンファレンス，ER 診療	夜勤業務

原則，月曜～金曜の日勤 ER 業務に参加
(希望により5年生のいない夜勤や土日の日勤へ振替)

6 評価法

担当教員が実習態度，口頭試問により評価する。

7 その他注意事項等

服装，マナーに注意してください。

Acute Care Surgery

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8：30（火曜日は7：30から全症例カンファレンス）
 ／（指導医夜勤時）17：30
- (2) 集合場所 高度外傷センター棟2階医局

2 実習概要

- (1) 高度外傷センターにおける外傷初期診療、救急外科初期診療を指導医とともに行う。
- (2) ICU および救命救急センター病棟、HCUにおける入院患者の診療を学ぶ。
- (3) 緊急手術に参加して外傷外科・救急外科の手術法について学ぶ。
- (4) 術後集中治療について、ICU および救命病棟での術後管理に参加する。
- (5) ドクターカーを中心とした病院前診療について学習する。

3 GIO（一般目標）

外傷診療および救急外科疾患における初期対応から手術適応の判断、手術手技、術後集中治療の流れを理解し、それぞれの概要を習得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 外傷初期診療の流れを把握し実践する。
- (2) 救急腹部疾患における診療の流れを把握する。
- (3) 身体所見から重症度の判断ができる。
- (4) 外傷初期診療の優先順位を理解し、治療戦略を説明できる。
- (5) 手術の適応と必要な治療法を理解する。
- (6) 術後集中治療に必要な診察、検査、治療に関して理解する。
- (7) 救急病態における基本的手技を理解して実践する。
- (8) 病院前診療における特殊性を理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30 -	9:00 - 15:00	15:00 - 18:00	18:00 -
月	渡部	新患・重症 カンファレンス	外傷センター初期 診療実習	外傷センター初期 診療実習	夜勤実習 (指導医夜勤時)
火		全症例 カンファレンス			
水	下条	新患・重症 カンファレンス	手術参加	手術参加	
木			ICU 管理実習	ICU 管理実習	
金				臨床実習まとめ	

※火曜日は7：30から全症例カンファレンスと教授回診

6 評価法

出席状況, 実習態度, プレゼンテーション, レポートの提出

7 その他注意事項

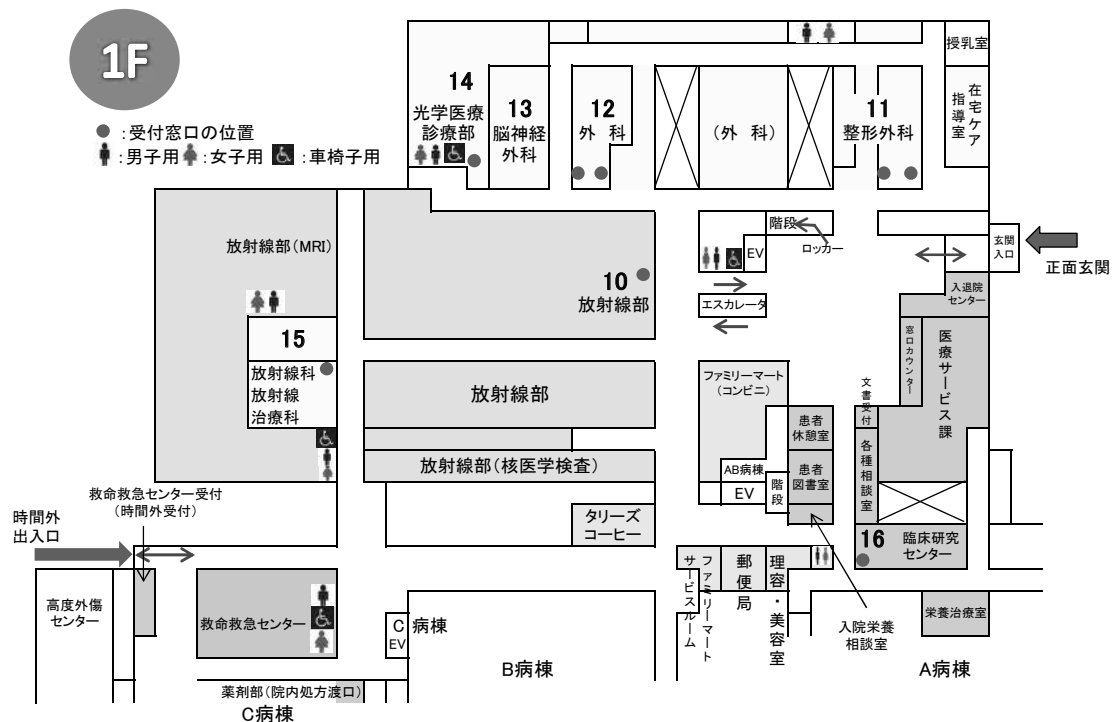
- (1) 月曜日の朝に指導医を決定し, 原則指導医とともに行動する。そのため, 夜勤入りおよび夜勤明けは指導医同様休みとしても良い。ただし, 自学見学実習は許可する。
- (2) 時間厳守
- (3) 服装・態度に注意する。
- (4) 患者への言葉遣いに注意する。不用意な発言を慎むこと。
- (5) 白衣・聴診器を持参すること。
- (6) 患者情報に関する守秘義務を遵守すること。

医学部附属病院案内図

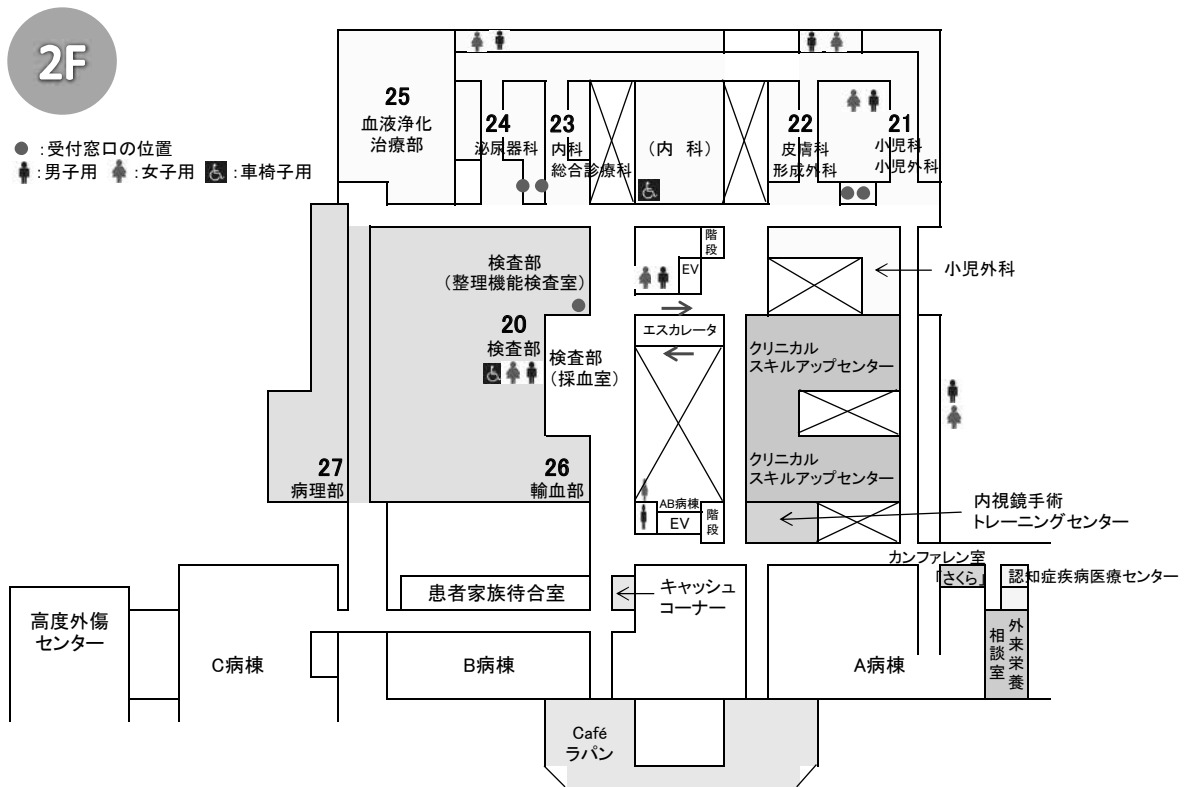
病棟配置

	【A病棟】	【B病棟】	【C病棟】	
8F	精神科神経科	耳鼻咽喉科、眼科 消化器内科	女性・個室病棟	9F
7F	消化器フロア 消化器内科、肝臓内科 消化器総合外科		先端がん治療センター	8F
6F	循環器・呼吸器フロア 循環器内科、呼吸器・化学療法内科 心血管外科、総合診療科 呼吸器外科、整形外科		MCU	7F
5F	脳神経フロア 神経内科、泌尿器科 脳神経外科、泌尿器科、小児科		小児センター病棟	6F
4F	内分泌代謝内科、 腫瘍・血液内科、腎臓内科	膠原病内科、皮膚科 放射線科、放射線治療科、麻酔科 RI・シンド、歯科口腔外科、婦人科	(設備階)	4F
3F	産科、婦人科、整形外科		手術部	3F
2F	認知症患者医療センター 外来栄養相談室、スタッフ室等	患者家族待合室 医師当直室、スタッフ室等	ICU、HCU、MEセンター 救命救急センター病棟	2F
1F	栄養治療室 患者給食厨房、感染制御部	SPDセンター、リネン Aiセンター、剖検室等	救命救急センター 材料部、薬剤部	1F

外来・中央診療棟



外来・中央診療棟



外来・中央診療棟

